



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 第一精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6640 URL <https://www.daiichi-seiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土山 隆治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務統括部長 (氏名) 田箆 康利 TEL 075-611-7155
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	12,721	6.6	291	—	602	—	452	—
2019年12月期第1四半期	11,932	△5.5	△557	—	△580	—	△606	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △480百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 △359百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	24.18	—
2019年12月期第1四半期	△36.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	79,214	48,941	61.7
2019年12月期	80,421	49,795	61.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 48,875百万円 2019年12月期 49,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	5.00	—	20.00	25.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	5.00	—	20.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	27,500	8.2	600	—	600	—	400	—	21.36
通期	57,500	6.4	2,400	59.4	2,400	73.6	1,600	72.9	85.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	18,722,800株	2019年12月期	18,722,800株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	350株	2019年12月期	350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	18,722,450株	2019年12月期 1 Q	16,722,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

なお、業績予想の前提条件等につきましては、[添付資料] P 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P 5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦をはじめとする不確実性の高まりから中国景気の減速感が増し、また米国においても景況感の悪化が観測され始めていましたが、3月に入り新型コロナウイルスの感染が急速に拡大したことによって一段と経済活動の収縮が避けられない状況となりました。

我が国経済においては、年初から2月にかけては、輸出が緩やかに持ち直すなど、需要動向は回復傾向を示していましたが、感染拡大の影響を受け輸出が大幅に減少した他、個人消費も外出自粛が重石となり景気の減速が顕著となりました。

このような経済環境の中で当社グループにおいても、感染拡大に伴う需要の減少や、生産拠点の操業短縮等の影響を受けたものの、ノートパソコン及びスマートフォン向けの付加価値の高いコネクタ等が下支えし、総じて堅調な状態が継続しました。

電気・電子部品事業は、主力製品である高周波・高速伝送特性に優れたコネクタを中心に好調に推移しました。細線同軸コネクタは、Windows 7サポート終了に伴うパソコンの更新需要が継続していることに加え、リモートワークの普及でノートパソコンの需給が逼迫したことにより伸長しました。アンテナ用超小型RF同軸コネクタは、スマートフォン向けは伸び悩んだものの、ノートパソコン向けは堅調に推移しました。また、基板対基板コネクタは、高周波伝送に優れたシールドコネクタが5G対応スマートフォンの通信モジュール向けに増加しました。HDD関連部品は、サーバー向けの需要は底堅く推移したものの、HDDメーカーが生産調整を続けたことから低迷しました。

自動車部品事業は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、自動車販売が減少したことを受けて車載部品の需要が伸び悩みましたが、耐振・耐熱性に優れたSMTコネクタは、LEDヘッドライトの高機能化に伴い、採用モデルが増加し好調を維持しました。第1四半期の自動車部品事業における部品需要の減少は限定的なものに留まりましたが、足元の受注は総じて弱含みで推移しました。

設備事業は、直前四半期に受注した半導体樹脂封止装置や金型等の出荷が下支えとなり堅調に推移しましたが、足元では、景気減速の顕在化により半導体メーカーが設備投資を先送りする動きが見られました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12,721百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益291百万円（前年同四半期は営業損失557百万円）、経常利益602百万円（前年同四半期は経常損失580百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益452百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失606百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,207百万円減少し、79,214百万円となりました。主な減少要因は、受取手形及び売掛金1,422百万円等であります。

負債につきましては、352百万円減少の30,273百万円となり、主な減少要因は、短期借入金330百万円等であります。

純資産につきましては、為替レート変動の影響による為替換算調整勘定の減少892百万円等により854百万円減少し、48,941百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月7日に公表しました2020年12月期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,203	12,618
受取手形及び売掛金	12,493	11,070
製品	4,301	4,147
仕掛品	3,711	3,471
原材料及び貯蔵品	2,012	1,963
その他	1,311	1,244
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	36,030	34,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,301	17,225
減価償却累計額	△9,224	△9,209
建物及び構築物 (純額)	8,076	8,016
機械装置及び運搬具	39,575	40,727
減価償却累計額	△27,697	△27,963
機械装置及び運搬具 (純額)	11,878	12,764
工具、器具及び備品	24,353	23,981
減価償却累計額	△22,271	△21,889
工具、器具及び備品 (純額)	2,081	2,091
土地	5,615	5,524
建設仮勘定	13,672	13,230
有形固定資産合計	41,324	41,626
無形固定資産		
その他	500	495
無形固定資産合計	500	495
投資その他の資産		
繰延税金資産	35	29
退職給付に係る資産	667	669
その他	1,883	1,901
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	2,566	2,580
固定資産合計	44,391	44,702
資産合計	80,421	79,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,222	2,359
短期借入金	8,873	8,543
未払法人税等	160	171
賞与引当金	718	1,170
その他	4,492	3,476
流動負債合計	16,468	15,721
固定負債		
長期借入金	8,707	8,835
繰延税金負債	917	912
退職給付に係る負債	160	143
その他	4,373	4,659
固定負債合計	14,157	14,551
負債合計	30,626	30,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,968	10,968
資本剰余金	10,513	10,513
利益剰余金	27,337	27,415
自己株式	△0	△0
株主資本合計	48,819	48,897
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	△2
為替換算調整勘定	△52	△944
退職給付に係る調整累計額	951	924
その他の包括利益累計額合計	909	△22
非支配株主持分	66	65
純資産合計	49,795	48,941
負債純資産合計	80,421	79,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	11,932	12,721
売上原価	9,155	8,917
売上総利益	2,776	3,804
販売費及び一般管理費	3,333	3,513
営業利益又は営業損失(△)	△557	291
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	8
為替差益	—	149
助成金収入	9	195
受取保険金	102	7
その他	10	9
営業外収益合計	129	369
営業外費用		
支払利息	30	46
為替差損	54	—
輸送事故による損失	55	—
その他	12	10
営業外費用合計	152	57
経常利益又は経常損失(△)	△580	602
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△580	602
法人税、住民税及び事業税	48	137
法人税等調整額	△21	13
法人税等合計	26	151
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△607	451
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△606	452

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△607	451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△12
為替換算調整勘定	259	△893
退職給付に係る調整額	△16	△26
その他の包括利益合計	247	△932
四半期包括利益	△359	△480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△358	△479
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。